

—市民の視点にたち、市民の声を市政に反映させ、市民に開かれた市政を実現するために—

第11回市民満足度アンケート調査へのご協力のお願い

＜調 査 票 B＞

市民の皆様には、平素より、市政運営に多大なご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、市政運営の総合的かつ基本的な取組方針を定めた成田市総合計画「NARITA みらいプラン」の中に掲げた44の施策（分野別の基本的な取組方針）を対象に、「施策の実施による成果」と「施策の実現に向けて予定している事業」について、市民の皆様がどのように感じているのか、【現状の満足度、施策の重要度】をお伺いし、その結果を必要な改善に結び付けることを目的に市民満足度アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成29年5月

成田市長 小 泉 一 成

＜ご記入に際しての注意事項など＞

1. ご記入に際してのお願い

○本調査にお答えいただくのは、満18歳以上の市民の中から無作為に選ばれた2,000人の方々です。また、お答えいただく方々の負担を考慮し、調査票をAとBの2種類に分け、それぞれを1,000人の方に送付させていただいています。

○本調査は無記名で行い、回答結果は統計的に処理しますので、ご協力いただいた皆様にご迷惑をかけることは一切ありません。どうぞ思ったままをお答えください。

2. ご記入上の注意事項

○宛名のご本人がお答えください。ただし、事情により、ご本人の記入が難しい場合には、ご家族の方が代わりにお答えになっていただいても構いません。

○お答えは、別添の「質問・回答シート」に直接ご記入ください。また、すべての質問にもれなくお答えください。

3. 調査票の返送期限

○ご記入いただいた「質問・回答シート」は、同封した返信用封筒に入れ、

5月16日（火）までに郵便ポストに投函してください。

【本調査に関する問い合わせ先】

成田市企画政策部企画政策課

電 話：20-1500 FAX：24-1006

E-mail：kikaku@city.narita.chiba.jp



調査票の質問と回答について

別紙の調査票の質問は、「Ⅰ. あなたご自身のことについて」、「Ⅱ. 成田市の住みごころなどについて」、「Ⅲ. 市の基本施策に対する満足度・重要度について」という内容に大きく分かれています。Ⅲのうち、あなたにおたずねする施策は、下表に示す22の施策です。

＜おたずねする施策の一覧＞

分野及び 施策コード	施 策	該当 ページ
1. 住環境		P 3
1-1-2	犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる	//
1-2-2	空港周辺地域の振興を図る	P 4
1-3-2	水の安定供給と汚水処理の適正化を図る	//
1-3-4	地球環境にやさしいまちをつくる	P 5
2. 保健・医療・福祉		P 6
2-1-2	安定した子育てを支える基盤を整える	//
2-2-2	高齢者が安心して生活できる体制を整える	//
2-2-4	生活の安定を確保して自立・就労を支援する	P 7
2-3-1	子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する	//
3. 教育・文化		P 8
3-1-1	成田の未来をつくる義務教育を推進する	//
3-1-3	幼児教育を推進する	//
3-2-1	市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する	P 9
3-2-3	スポーツに親しめる環境をつくる	//
3-3-2	国際交流を推進する	P 10
4. 空港・都市基盤		P 11
4-1-2	空港を活用し新たな成田の魅力を開発する	//
4-2-2	道路ネットワークと交通環境を整える	P 12
5. 産業振興		//
5-1-1	成田特有の観光資源の更なる活用を図る	//
5-2-1	豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ	P 13
5-3-1	商工業の活性化を図る	//
6. 自治体経営		P 14
6-1-1	人権が尊重され男女が共に参画する社会をつくる	//
6-1-3	市民との協働の仕組みをつくる	//
6-2-2	効率的・効果的な行政運営に努める	P 15
6-2-4	広域連携を推進し、地域の一体的発展に努める	//

㊦「Ⅲ. 市の基本施策に対する満足度・重要度について」の具体的な質問の構成(例)

○上部には施策の名称と、当該施策の実現に向けて成田市総合計画「NARITA みらいプラン」(2016~2027)に計上してある「4年間の取組方針」を記載しています。

○下部左側の「平成28年度の活動内容・実績」欄には、当該施策を推進するために実施した平成28年度の主な活動内容・実績が記載されています。また、下部右側の「平成29年度以降の主な事業」欄には、施策の実現に向けて実施計画に計上してある平成29年度以降^{注)}の内容を記載しています。

○費用については、別添「施策費用一覧(実績)」もご覧ください。

○これらをもとに、「現状の満足度」と「今後のまちづくりにおける重要度」を判定していただく欄[㊦]があります。日頃お感じになっている印象を含め、各施策の取組みについて、選択肢の中からあなたご自身のお考えに最も近いものをそれぞれ一つ選び、あてはまるものに直接○をつけてください。

注) 今回のアンケート調査は平成30年度以降の実施計画の見直しに活用することを目的としています。

<質問の構成(例)>

1-1-2 犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる	
自主防犯活動団体の設立の促進及び自主防犯活動を支援するための事業の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化し、地域の特色に応じた犯罪抑止活動を促進します。また、消費生活センターなどに相談窓口を設置するなど、消費者被害の防止を図ります。さらに、交通事故発生件数の減少を図ります。 施策の名称	
【平成28年度の活動内容・実績】 ■防犯体制の強化により犯罪発生件数を抑制 ・人口1万人当たりの犯罪発生件数 113.0件(平成28年分) ■安全対策を強化し、交通事故発生件数の減少に努める ・交通事故発生件数 494件(平成28年分) ■消費生活センターにおける相談窓口の充実強化 ・消費生活相談の解決率 95.8%	【平成29年度以降の主な事業】 ■地域安全対策事業 ・通学路の防犯パトロールや、犯罪抑止重点地区と不審者情報多発地区への防犯カメラの設置を行う。 ■駅前番所事業 ・JR成田駅西口の駅前番所(えきばん)においての立番や警察署との連絡調整、また移動えきばん車による駐留と巡回を実施する。 ■消費生活センター運営事業 ・消費生活相談員を配置し、各種相談の受付や問題解決のための斡旋などを行う。
2億4,995万円	￥平成29年度当初予算 2億6,176万円
日頃の印象を含め、該当の番号に○をつけてください	
◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。 (1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)	
◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。 (1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)	

📌 「現状の満足度」の解説

あなたの満足度(選択肢)	選択肢の内容
1. 満足	受益者（市民や事業所）に対して十分なサービスが提供されており、現状に満足している。
2. やや満足	受益者に対して充分ではないがある程度のサービスが提供されており、現状にやや満足している。
3. どちらともいえない	他のどの選択肢にも当てはまらず、満足とも不満とも感じていない。
4. やや不満	受益者に対するサービスがやや不足しており、現状にやや不満を抱いている。
5. 不満	受益者に対するサービスが明らかに不足しており、現状に不満を抱いている。

📌 「今後のまちづくりにおける重要度」の解説

施策の重要度（選択肢）	選択肢の内容
1. 重要	今後のまちづくりにおいて重要な施策であり、他の施策よりも優先的に実施する必要があると思う。
2. やや重要	今後のまちづくりにおいてやや重要な施策であり、他の施策よりもある程度優先的に実施する必要があると思う。
3. どちらともいえない	他のどの選択肢にも当てはまらず、重要とも重要でないともいえない。
4. あまり重要ではない	今後のまちづくりにおいてあまり重要ではなく、他の施策よりも優先的に実施する必要はないと思う。
5. 重要ではない	今後のまちづくりにおいて重要ではなく、他の施策を優先的に実施した方が良いと思う。

それでは、設問が多くお手数をおかけいたしますが、

「質問・回答シート」へのご記入をお願いいたします。 📌

＜質問・回答シート(調査票 B)＞

I. あなたご自身のことについておたずねします。

問1. あなたの性別をおたずねします。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2. あなたの年齢をおたずねします。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60歳以上 |

問3. あなたの職業をおたずねします。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 勤め人(会社員、公務員など) | 2. 非常勤(パートタイマー、アルバイトなど) |
| 3. 自営業 | 4. 家事専業 |
| 5. 学生 | 6. 無職、その他 |

問4. あなたのお住まいの地区をおたずねします。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---------|----------|---------|-------------|
| 1. 成田地区 | 2. 公津地区 | 3. 八生地区 | 4. 中郷地区 |
| 5. 久住地区 | 6. 豊住地区 | 7. 遠山地区 | 8. ニュータウン地区 |
| 9. 下総地区 | 10. 大栄地区 | | |

問5. あなたの成田市での居住年数をおたずねします。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 | 3. 10年以上20年未満 |
| 4. 20年以上30年未満 | 5. 30年以上 | |

問6. あなたを含め、現在、同居されているご家族(世帯)の構成をおたずねします。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみの世帯 | 3. 夫婦と未婚の子のみの世帯 |
| 4. ひとり親と未婚の子のみの世帯 | 5. 三世帯世帯 | 6. その他の世帯 |

問7. あなたを含め、現在、同居されているご家族についておたずねします。該当する番号にすべて○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 小学校入学前の乳幼児がいる | 2. 小・中学生、高校生がいる |
| 3. 大学生(大学院生を含む)、専門学校生がいる | 4. 65歳以上の人がいる |
| 5. 介護を必要とする人がある | 6. 1～5に該当する人はいない |

Ⅱ. 成田市の住みごころなどについておたずねします。(地方創生に関する意識調査)

《全員におたずねします。》

問 1. 成田市の住みごころについて、該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. 大変満足している | 2. 概ね満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. 非常に不満である | 6. よくわからない |

問 2. あなたは、これからも成田市に住み続けたいと思いますか。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. 当分は住んでいたい | 3. やがては移りたい |
| 4. すぐにでも移りたい | 5. わからない | |

問 3. あなたは、成田市に誇りや愛着を持っていますか。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. はっきりと持っている | 2. 漠然と持っている | 3. どちらともいえない |
| 4. ほとんど持っていない | 5. 全く持っていない | 6. よくわからない |

問 4. 成田市内には、「雇用の場」が確保されていると思いますか。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 十分確保されている | 2. ある程度確保されている | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり確保されていない | 5. 全く確保されていない | 6. よくわからない |

《20 代から 40 代で、結婚されている方のみにおたずねします。》

問 1. あなた方ご夫婦にとって、現在のお子様も含めて、現状で予定している子どもの数は何人ですか。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------|----------|
| 1. 子どもは持たない | 2. 1 人 | 3. 2 人 |
| 4. 3 人 | 5. 4 人 | 6. 5 人以上 |

問 2. あなた方ご夫婦にとって、理想的な子どもの数は何人ですか。該当する番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------|----------|
| 1. 子どもは持たない | 2. 1 人 | 3. 2 人 |
| 4. 3 人 | 5. 4 人 | 6. 5 人以上 |

Ⅲ. 市の基本施策に対する満足度・重要度についておたずねします。

市が各施策を推進するために実施した「主な活動内容・実績」と、これから実施を予定している「主な事業」を参考に、日頃お感じになっている印象も含めて、あなたの考えに最も近い番号に一つだけ○をつけてください。

1. 住環境に関する施策

1-1-2 犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる

自主防犯活動団体の設立の促進及び自主防犯活動を支援するための事業の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化し、地域の特色に応じた犯罪抑止活動を促進します。また、消費生活センターにおける相談窓口の充実強化など、消費者被害の防止を図ります。さらに、交通事故発生件数の減少を図るため、交通安全対策を推進します。

(主な事業) 防犯灯整備事業、消費生活センター運営事業、交通安全施設等設置事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 防犯体制の強化により犯罪発生件数を抑制
 - ・人口 1 万人当たりの犯罪発生件数
113.0 件（平成 28 年分）
- 安全対策を強化し、交通事故発生件数の減少に努める
 - ・交通事故発生件数 494 件（平成 28 年分）
- 消費生活センターにおける相談窓口の充実強化
 - ・消費生活相談の解決率 95.8%

¥ 平成 28 年度決算見込み 2 億 4,995 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

- 地域安全対策事業
 - ・通学路の防犯パトロールや、犯罪抑止重点地区と不審者情報多発地区への防犯カメラの設置を行う。
- 駅前番所事業
 - ・JR 成田駅西口の駅前番所(えきばん)においての立番や警察署との連絡調整、また移動えきばん車による駐留と巡回を実施する。
- 消費生活センター運営事業
 - ・消費生活相談員を配置し、各種相談の受付や問題解決のための斡旋などを行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 2 億 6,176 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)

1-2-2 空港周辺地域の振興を図る

空港周辺地域の生活環境を保全し、地域と空港が共生・共栄するために、地域の特性などを生かした施策を推進します。また、地域住民が学習や集会などに利用する施設の良好な維持管理に努めます。
(主な事業) 成田空港周辺環境整備推進事業、共同利用施設等維持管理事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 荒海共生プラザの維持管理
 - ・ 健康ルーム利用者数 6,300 人
- 学習や集会などに利用する施設の維持管理
 - ・ 共同利用施設・防音集会所の設置数 80 箇所

¥ 平成 28 年度決算見込み 1 億 877 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

- 成田空港周辺環境整備推進事業
 - ・ 空港周辺の自然環境を保全・活用しながら計画的な土地利用を図り、騒音地域の地域振興と生活環境の整備を推進する。

¥ 平成 29 年度当初予算 1 億 2,104 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)

1-3-2 水の安定供給と污水处理の適正化を図る

上水道については、経営的視点を考慮した計画的な施設整備を進めます。また、下水道などについては、污水適正処理構想に基づいた適切な施設整備を実施するとともに、下水道事業の公営企業会計への移行に向けた準備を行います。

(主な事業) 上水道事業、下水道事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 老朽管の更新による管路の耐震化を実施
 - ・ 上水道の管路耐震化適合率 57.7%
- 安定的な給水のため健全な運営に努める
 - ・ 経常収支比率^{注)}(上水道事業) 109.6%
- 污水適正処理構想・印旛沼流域関連公共下水道事業計画に基づいた下水道整備を実施
 - ・ 污水处理人口普及率 91.3%(平成 27 年度末)
 - ・ 未普及地区(飯仲・宗吾地区)の実施設計、污水管渠整備工事を実施

¥ 平成 28 年度決算見込み 12 億 7,952 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

- 業務に関する経費
 - ・ 下水道事業の地方公営企業会計への移行準備を進める。
- 印旛郡市広域市町村圏事務組合水道事業
 - ・ 長期的な安定給水のための水源確保と水需要に対応するため、印旛郡市広域市町村圏事務組合水道事業への出資及び負担金の支出を行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 16 億 5,252 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)

注)「経常収支比率」とは、公営企業においては、費用が収益によってどの程度賄われているかを示す指標で、高い方が経営状態が良いことを示す。

1-3-4 地球環境にやさしいまちをつくる

市民や事業者との連携を強化し、市民ニーズに柔軟に対応しながら、住宅用省エネルギー設備設置費補助や環境保全に対する啓発などを実施します。また、大気、水質など、身の回りの環境調査を継続し、調査結果の市民への情報発信を推進します。

(主な事業) 環境保全に関する経費、環境基本計画推進事業、生活排水対策推進計画策定事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 太陽光発電設備を小・中学校に設置
 - ・太陽光発電設置校数 1 校(新山小学校)
 - ・小・中学校太陽光発電整備率 20.0%
- なりた環境ネットワークによる環境美化・啓発活動
 - ・なりた環境ネットワーク加入団体数 70 団体
 - ・印旛沼クリーンハイキングの参加者数 540 人
- 成田市 EMS^{注)}に基づく取組
 - ・環境目標(成田市 EMS における重点管理項目)の設定数 42 項目
- 「エネルギーの地産地消」を推進
 - ・香取市及び民間事業者と共同出資を行い、全国初の 2 市共同出資による地域電力会社「(株)成田香取エネルギー」を設立

¥ 平成 28 年度決算見込み 1 億 1,202 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

- 環境保全に関する経費
 - ・「(株)成田香取エネルギー」の地域電力事業により、成田市の清掃工場と香取市の太陽光発電所で発電した再生可能エネルギーを 2 市の公共施設に供給する「エネルギーの地産地消」の取り組みを進める。
- 小・中学校太陽光発電導入事業
 - ・学校の新増築工事や大規模改修工事に合わせて、太陽光発電の導入を進めるとともに、避難所としての観点から蓄電池も併せて整備する。
- 地球温暖化対策推進事業
 - ・住宅用省エネルギー設備を新たに設置した市民に対し、その設置に要する費用の一部を助成する。

¥ 平成 29 年度当初予算 9,355 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)

注)「EMS」とは、環境管理の国際規格である「ISO14001」を参考とした環境マネジメントシステムのこと。

2. 保健・医療・福祉に関する施策

2-1-2 安定した子育てを支える基盤を整える

待機児童の解消を図り、私立保育園などの運営を支援するとともに、利用者が多様な保育サービスを選択できるよう保育の供給体制の確保に努めます。また、放課後の児童の安全確保や健全育成のため、児童ホームの計画的な整備に努めます。

(主な事業) 保育園運営事業、私立保育園等運営委託事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

■充実した保育サービスの提供

- ・保育園等及び地域型保育事業所^{注)}の定員数 2,664 人
- ・保育園等及び地域型保育事業所の待機・保留児童^{注)}数 67 人

■児童ホームの計画的な整備

- ・児童ホームの待機児童数 65 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 24 億 6,883 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

■保育園整備事業

- ・老朽化が進むニュータウン内の市立保育園の大規模改修を進める。

■保育士確保・処遇改善促進事業

- ・保育士の給与上乗せ補助を新設するなど、保育士の処遇改善を促進することで、保育士確保を図り、待機児童の解消に努める。

¥ 平成 29 年度当初予算 33 億 1,619 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)



注)「地域型保育事業所」とは、保育所よりも少人数の単位で、0～2 歳の子どもを保育する事業所。①小規模保育(利用定員 6 人以上 19 人以下)、②家庭的保育(利用定員 5 人以下)、③居宅訪問型保育、④事業所内保育の 4 つのタイプがある。

注)「保留児童」とは、入所申込を行っているが、入所待ちになっている「入所待ち児童」のことをいう。「待機児童」とは、この「保留児童」のうち、特定保育所のみを希望している場合を除くなどの国が定める基準に該当する児童のことをいう。

2-2-2 高齢者が安心して生活できる体制を整える

地域包括支援センター^{注)}の体制を整備し、高齢者ニーズに応じた介護予防の取組みを進めるなど、地域ぐるみで高齢者一人ひとりの生活を総合的に支えます。

(主な事業) 包括的支援に関する経費、介護予防・生活支援サービス負担事業、在宅サービス事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

■身近な相談窓口として地域包括支援センターの体制を整備

- ・地域包括支援センター相談件数 7,171 件

■高齢者に対する各種在宅サービス(移送、配食など)の提供

- ・在宅サービス利用件数 79,883 件

¥ 平成 28 年度決算見込み 11 億 7,173 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

■介護予防・生活支援サービス負担事業

- ・要支援者の支援について、サービス提供主体や内容を多様化し、生活支援・介護予防サービスの充実を図る。

■オンデマンド交通高齢者移送サービス事業

- ・高齢者の通院や買い物などの交通手段及び外出する機会を確保するため、全市を対象に乗降時間乗降場所の要望に対応し得る乗合型タクシーによる移送サービスの実証実験を行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 14 億 3,970 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)



注)「地域包括支援センター」とは、社会福祉士、保健師(看護師)、主任介護支援専門員の高齢者保健福祉に関する専門職員が常勤で配置されており、地域の高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活を継続するための総合的窓口。

2-2-4 生活の安定を確保して自立・就労を支援する

市や関係機関などの専門的な窓口の充実を図るほか、これらの連携を重視した各種相談体制や情報提供の仕組みづくりを進めます。また、生活困窮者などの生活の安定や自立支援、災害時における避難行動要支援者対策、福祉に配慮したまちづくりなどについての横断的な取組みを推進します。

（主な事業）社会福祉協議会支援事業、生活保護扶助費、母子生活支援施設等入所措置事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

■成田市社会福祉協議会の事業及び運営に対する補助

- ・社会福祉協議会の登録ボランティア
100 グループ 1,649 人

■ひとり親家庭に対する相談体制の充実

- ・母子・父子自立支援員相談回数 161 回

¥ 平成 28 年度決算見込み 34 億 6,348 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

■生活困窮者自立支援事業

- ・生活困窮者の自立促進を目的とした相談事業や住居確保のための給付金の支給などを実施する。

■母子・父子家庭支援事業

- ・母子・父子家庭などを対象に入学及び就職祝金の支給や医療費などの助成を行うとともに、死別などの家庭に対しては遺児手当を支給する。

¥ 平成 29 年度当初予算 28 億 8,562 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

（ 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 ）



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

（ 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない ）

2-3-1 子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する

健康増進計画に基づき、各世代のライフスタイルに応じた事業を推進します。また、予防接種による感染症予防、生活習慣の見直し、疾病の予防・早期発見を進めるとともに、健康に関心を持ち、意識を深めるための健康教育や情報提供を行います。

（主な事業）成人保健事業、予防接種事業、健康診査事業、結核・がん検診事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

■健康診査、結核・がん検診の実施

- ・一般健康診査受診率 3.3%
- ・結核・がん検診受診率 21.5%

■各種予防接種等の実施

- ・予防接種率 67.7%（2 月末時点）

¥ 平成 28 年度決算見込み 6 億 1,217 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

■結核・がん検診事業

- ・がんを早期に発見し早期治療を可能とするため、各種がん検診を実施する。受診率の向上を図るため、受診勧奨等の取り組みを行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 6 億 8,389 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

（ 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 ）



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

（ 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない ）

3. 教育・文化に関する施策

3-1-1 成田の未来を作る義務教育を推進する

子どもたちが、社会を生き抜く力を育み、グローバル化に対応できるよう、伝統・文化、道徳性などの様々な知識や技能にかかわることのできる、よりよい学校教育環境づくりを進めます。また、様々な困難を抱えている子どもたちへの支援を充実させるとともに、社会の変化に対応した教育を推進します。

（主な事業）特色ある学校づくり事業、小・中学校教育用コンピュータ整備事業、児童生徒就学支援事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 市内小中学校にタブレット端末を導入
 - ・タブレット端末の導入校数 1 校
- 給食環境の整備
 - ・これまでに整備した親子方式^{注)}の給食施設 3箇所
- いじめや不登校等を予防し、早期に発見・対応するため、教育相談員を配置
 - ・教育相談員配置校数 12 校

¥ 平成 28 年度決算見込み 44 億 3,217 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

- 小・中学校校内 LAN 整備事業
 - ・教職員の負担を軽減し、児童・生徒に向き合う時間や教材研究に割く時間等を確保するため、児童生徒の基礎情報や出欠情報などを管理できる校務支援システムを全小中学校に導入する。
- 本城小学校増築事業
 - ・本城小学校区の人口増加に伴う児童数の増加に対応するため、小学校校舎の増築工事を実施する。

¥ 平成 29 年度当初予算 42 億 6,799 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

（ 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 ）

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

（ 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない ）



注)「親子方式」とは、敷地に余裕のある学校に給食施設を設置し、設置された学校を拠点として、周辺のいくつかの学校に給食を供給する方式。

3-1-3 幼児教育を推進する

大栄幼稚園の適切な運営・管理を行うとともに、私立幼稚園への支援を進め、幼稚園における教育環境の更なる充実を図ります。

（主な事業）大栄幼稚園管理運営事業、私立幼稚園就園奨励事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 公立幼稚園の管理運営および私立幼稚園への就園支援
 - ・幼稚園在籍者数 2,278 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 3 億 8,017 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

- 大栄幼稚園管理運営事業
 - ・大栄幼稚園において、3 歳児から 5 歳児の保育を実施するとともに、老朽化が進む園舎の改修を計画的に進める。
- 私立幼稚園就園奨励事業
 - ・私立幼稚園に在籍する園児の保護者に対して入園料・保育料の一部を補助する。

¥ 平成 29 年度当初予算 3 億 5,525 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

（ 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 ）

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

（ 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない ）



3-2-1 市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する

市民の学習ニーズに対応した、誰もが参加しやすい学習環境づくりを進めるとともに、地域に学習成果を還元できる仕組みの促進を図ります。また、関係機関・関係団体・地域の人材との連携を進めます。

（主な事業）生涯大学校管理運営事業、図書館事業、公民館施設維持管理事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】 ■成田市生涯大学院の開設 - 生涯大学院の入学者数 87 人 ■図書等の貸出し及びインターネット予約システムの活用 - 市民 1 人当たりの年間図書貸出冊数 9.8 冊 ■生涯学習施設の管理運営 - 市民 1 人当たりの年間生涯学習施設利用回数 1.93 回 ¥ 平成 28 年度決算見込み 5 億 2,439 万円	【平成 29 年度以降の主な事業】 ■公民館大規模改修事業 生涯学習を実践するための拠点施設として、市民が安全で快適に利用できるよう、老朽化した大栄公民館のプラザホール等の大規模改修を実施する。 ¥ 平成 29 年度当初予算 10 億 3,403 万円
--	---

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

（ 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 ）



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

（ 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない ）

3-2-3 スポーツに親しめる環境をつくる

市民が自発的に様々な形でスポーツ活動に取り組めるよう、「する」「みる」「ささえる」のどの立場からでも参加できるイベントを開催します。また、施設の良い管理運営を行うとともに、多様化するスポーツニーズに対応した施設整備を進めます。

（主な事業）各種大会教室等の開催事業、各種競技大会誘致事業、運動公園等整備事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】 ■各種スポーツイベントの開催 - 各種スポーツイベント参加者数 12,460 人 ■地域住民が主体となったスポーツクラブの設立を支援 - 総合型地域スポーツクラブ^注数 1 団体 ■スポーツ施設の管理運営 - スポーツ施設利用者数 1,101 千人 ¥ 平成 28 年度決算見込み 8 億 8,564 万円	【平成 29 年度以降の主な事業】 ■運動公園等整備事業 - 北千葉道路整備のために閉鎖している大谷津野球場の再開に向けて施設整備を行うとともに、老朽化した中台・大谷津運動公園内の屋外トイレ及び中台プールの水槽部の改修工事を実施する。 ■豊住ふれあい健康館管理事業 - 旧豊住中学校の跡地利活用として、市民の健康づくりや創作活動、地域活動の支援等を行う施設を管理運営する。 ¥ 平成 29 年度当初予算 5 億 8,317 万円
---	--

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

（ 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 ）



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

（ 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない ）

注)「総合型地域スポーツクラブ」とは、多世代・多種目・多志向という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのこと。

3-3-2 国際交流を推進する

本市の友好・姉妹都市との交流を深めます。また、成田市国際交流協会の活動に対する市民の参加・協力を促進するとともに、国際交流イベントなどを通じて外国人と共に暮らせるまちづくりを進めます。

(主な事業) 国際交流事業、国際こども絵画交流展開催事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

■様々な外国人との交流を推進

- ・外国人交流イベント参加者数 699 人
- ・国際市民フェスティバル参加者数 3,500 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 2,073 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

■国際交流事業

- ・中高生のホームステイなどを通じて、友好・姉妹都市との交流を進めるとともに、国際交流協会と協働し、市内の諸団体が行う国際交流事業を支援する。

■国際こども絵画交流展開催事業

- ・世界各地からの絵画を通じて、子どもたちや一般市民が国際理解を深められるよう、「国際こども絵画交流展」を開催する。

¥ 平成 29 年度当初予算 2,692 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)



4. 空港・都市基盤に関する施策

4-1-2 空港を活用し新たな成田の魅力を開発する

国内外のスポーツイベントや東京オリンピック・パラリンピックなどの事前キャンプを積極的に誘致します。また、訪日外国人旅行者や LCC^{注)}を利用する国内旅行者などをターゲットに、成田の魅力を発信し、成田ブランドの一層の推進を図ります。

(主な事業) スポーツツーリズム推進事業、成田ブランド推進戦略事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

- スポーツ大会やイベントの誘致
 - ・ 誘致したスポーツ大会等の参加者数 5,520 人
- スポーツツーリズム^{注)}の推進
 - ・ 2020 年東京オリンピックにおけるアメリカ陸上チーム事前キャンプ受入れ合意

¥ 平成 28 年度決算見込み 1 億 198 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

- スポーツツーリズム推進事業、各種競技大会誘致事業
 - ・ 2018 年の世界女子ソフトボール選手権大会の本市での開催や 2019 年のラグビーワールドカップ、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前キャンプや各種競技大会の積極的な誘致・開催に取り組むとともに、2020 年以降の継続的なスポーツツーリズムの推進に向けた戦略を立案し、実行します。

¥ 平成 29 年度当初予算 9,339 万円

◆ この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)



◆ この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)

注)「LCC」とは、Low Cost Carrier の略。低運賃を最大の特徴とする航空会社。機内サービスの有料化、大都市から離れた使用料の安い空港の利用、航空券のインターネット直販などで経費を削減する。

注)「スポーツツーリズム」とは、スポーツを「みる」「する」ための旅行そのものや周辺地域観光に加え、スポーツを「ささえる」人々との交流、あるいは生涯スポーツの観点から、ビジネスなどの多目的での旅行者に対し、旅行先の地域でも主体的にスポーツに親しむことのできる環境の整備、そして国際競技大会の招致・開催、合宿の誘致も包含した、複合的でこれまでにない「豊かな旅行スタイルの創造」を目指すもの。

4-2-2 道路ネットワークと交通環境を整える

「成田市幹線道路網整備計画」に基づき市内幹線道路網の段階的な整備を推進していくとともに、「橋梁(りょう)長寿命化修繕計画」に基づいて、橋りょうの計画的な修繕工事を実施します。また、バス交通の充実を図るとともに、機能強化に向けた調査・研究を実施します。

(主な事業) 幹線道路整備事業、コミュニティバス運行事業、道路等補修事業、鉄道計画推進に関する経費

【平成 28 年度の活動内容・実績】

■成田市幹線道路網整備計画に基づいた幹線道路の整備

- ・幹線道路整備完了路線数 2 路線

■コミュニティバスの運行

- ・コミュニティバス^{注)}の年間利用者数 226,947 人

■橋りょうの計画的かつ予防的な補修

- ・橋りょう長寿命化修繕工事実施数 5 橋

¥ 平成 28 年度決算見込み 36 億 1,123 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

■幹線道路整備事業

- ・市内各地区の連携機能の強化を図るため、国道、県道及び公共施設などとの連結的役割を担う幹線道路を計画的に整備する。

■橋りょう補修事業

- ・橋りょうの長寿命化修繕計画に基づいて、計画的かつ予防的な修繕工事を実施する。

¥ 平成 29 年度当初予算 51 億 321 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)



注)「コミュニティバス」とは、住民の利便向上等のため一定地域内を運行するバスで、車両仕様、運賃、ダイヤ、バス停位置などを工夫したバスサービス。

5. 産業振興に関する施策

5-1-1 成田特有の観光資源の更なる活用を図る

成田山新勝寺を中心に、日本の伝統芸能である歌舞伎や、地域に受け継がれてきた祭り・伝統芸能を活用した新たな観光PRを行うとともに、LCC 就航地先などで観光キャンペーンを行い、更なる観光客の誘致を図ります。

(主な事業) 観光活性化事業、観光に関する経費、成田ブランド推進戦略事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

■観光資源を活用した PR で観光客を誘致

- ・観光入込客数 1,479 万人

¥ 平成 28 年度決算見込み 1 億 4,241 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

■観光に関する経費

- ・更なる観光客誘致につなげるため、成田伝統芸能まつりを引き続き開催するとともに、成田山開基 1080 年祭記念行事実行委員会を組織し、平成 30 年に記念行事を実施する。

¥ 平成 29 年度当初予算 1 億 4,568 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)



5-2-1 豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ

優良農地を保全し、農業基盤の整備を実施していくとともに、農地や森林の多面的な機能の維持や印旛沼の漁業資源の確保など、農林水産資源の維持管理に対する取組みを継続的に支援します。また、「都市農村交流」などによる農村振興を図ります。

(主な事業) 農道整備事業、森林保全事業、都市・農村交流促進事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

■農道の舗装整備

- ・農道・排水路整備率 農道 66.3%
排水路 81.8%

■森林の適切な維持管理

- ・森林保全管理実施面積 11.9ha

■農業体験イベントなどの開催

- ・農業イベント参加者数 2,632 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 4 億 3,253 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

■土地改良区振興事業

- ・土地改良事業及び排水施設の維持管理事業などに係る経費を助成する。

■農地・水保全管理事業

- ・地域が共同で行う、農地、水路などの基礎的な保全管理活動や景観形成などの農村環境の保全のための活動に対する支援を行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 4 億 7,684 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)

5-3-1 商工業の活性化を図る

地域経済の活性化と雇用の創出において大きな役割を果たす中小企業の経営の安定・強化を支援するとともに、企業誘致を促進します。また、輸出拠点化を踏まえた卸売市場の再整備に向けた検討を行います。

(主な事業) 産業まつり開催事業、商店街振興支援事業、企業誘致事業、施設整備事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

■中小企業に対する資金の融資

- ・中小企業資金融資件数 212 件

■交通アクセスの利便性を生かした企業誘致

- ・新規企業誘致件数 1 件

■地域経済を支える中小企業の開業を支援

- ・新規起業件数 19 件 (2 月末時点)

¥ 平成 28 年度決算見込み 15 億 6,353 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

■中小企業資金融資事業

- ・中小企業資金融資制度に対する利子補給に加えて、日本政策金融公庫が融資する「小規模事業者経営改善資金」及び「新創業融資制度」に対する利子補給を行う。

■中小企業若手人材確保支援事業

- ・市内の中小企業と学生をマッチングさせるため、合同説明会などを開催する。

■施設整備事業

- ・国際航空ネットワークを活用し、農林水産物の輸出拠点機能を有する市場とするため、成田国際空港隣接地の県花植木センター跡地を移転候補地とし、卸売市場を再整備する。

¥ 平成 29 年度当初予算 15 億 4,112 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)

6. 自治体経営に関する施策

6-1-1 人権が尊重され男女が共に参画する社会をつくる

男女共同参画社会の実現に向け、男女が共に参画できる社会環境の整備を推進します。また、人権教室など様々な啓発機会を設け、人権の啓発活動に努めます。

(主な事業) 各種相談事業、男女共同参画推進に関する経費

【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 男女共同参画講座の開催
 - ・男女共同参画講座参加人数 342 人
- 女性のための相談を実施
 - ・女性のための相談件数 173 件
- 人権啓発活動の実施
 - ・人権教室の開催回数 4 回

¥ 平成 28 年度決算見込み 1,024 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

- 男女共同参画センター運営事業
 - ・男女共同参画社会の形成を促進するため、市民の自主的な学習や活動の場として活用できる男女共同参画センターの運営を行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 975 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)

6-1-3 市民との協働の仕組みをつくる

「成田市協働推進の基本指針」に基づいて、市民協働の意識の醸成を図るとともに、様々な市民活動団体などが連携・参加して、地域課題の解決に向け話し合うための場づくりを支援するなど、市民協働のための取組みを推進します。

(主な事業) 市民協働推進事業、市民参画推進事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 市民活動団体などを支援
 - ・市民活動団体数 337 団体
- 市民ワークショップを開催
 - ・市民参加型ワークショップ参加者数 45 人
 - ・市内高校生を対象としたワークショップ参加者数 319 人

¥ 平成 28 年度決算見込み 94 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

- 市民協働推進事業
 - ・市民と行政が協働する効率的な自治体運営を推進するため、市民協働の意識醸成を図るとともに、様々な市民活動団体などが地域課題解決に向けて主体的に連携、参加し合える場づくりなどを支援する。
- 市民参画推進事業
 - ・市民、特に次世代を担う若者や子育て世代などを対象とした市民向けワークショップなどを開催することで、市民の市政に対する興味を喚起し、幅広い市政参画を促す。

¥ 平成 29 年度当初予算 176 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

(1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満)



◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

(1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない)

6-2-2 効率的・効果的な行政運営に努める

健全な財政運営のため、優先度や緊急度を見極め、選択と集中を行うことで、限られた財源を効率的に配分します。また、公民連携を進めるとともに、公共施設の総合的な管理を体系化して、有効利用を図ります。さらには、総合窓口を引き続き実施するなど、充実した窓口サービスを提供します。

（主な事業）行政改革推進事業、庁舎管理事業、証明書コンビニ交付事業、統計調査事務費

【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 健全な財政運営の推進
 - ・経常収支比率^注 81.7%
- 公共施設の効率的な設置・運営
 - ・指定管理者制度^注 導入施設の割合 51.1%
 - ・公共施設マネジメントシステムの運用
 - ・公共施設等総合管理計画^注 を策定
- 旅券発給事務申請交付事業
 - ・市民課窓口にて旅券の申請・受取等の手続を開始

¥ 平成 28 年度決算見込み 52 億 8,231 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

- 行政改革推進事業
 - ・新たな行政課題や市民ニーズに対応するため、市民満足度を重視した行政サービスの向上（質の改革）と簡素で効率的・効果的な行政経営（量の改革）を目指す。

¥ 平成 29 年度当初予算 24 億 5,001 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

（ 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 ）

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

（ 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない ）



注）「経常収支比率」とは、財政の弾力性を判断するための指標で、人件費等の毎年度経常的に係る経費に、税などの毎年度経常的に収入される一般財源がどれだけ費やされているかを示したもの。

注）「指定管理者制度」とは、体育館や図書館など地方公共団体が住民の福祉を増進する目的で設置した公の施設の管理運営を、地方公共団体が指定した民間事業者を含む法人・団体に行わせる制度。

注）「公共施設等総合管理計画」とは、インフラ資産も含めた地方公共団体が所有する全ての公共施設等を対象とした、更新、統廃合、長寿命化等の管理に関する基本的な考え方を示すもの。

6-2-4 広域連携を推進し、地域の一体的発展に努める

印旛郡市や空港周辺などの近隣自治体との連携に取り組み、効率的・効果的な行政運営と地域の活性化を図ります。そのため、一部事務組合などに加入し、広域的な共同事務処理を行うとともに、空港周辺自治体全体の均衡ある発展を目指し、成田国際空港の機能強化に向けた勉強会の開催などを行います。

（主な事業）印旛郡市広域市町村圏事務組合一般事業

【平成 28 年度の活動内容・実績】

- 広域での連携により効率的な事務処理を行う
 - ・一部事務組合などへの加入件数 5 件

¥ 平成 28 年度決算見込み 1,841 万円

【平成 29 年度以降の主な事業】

- 印旛郡市広域市町村圏事務組合一般事業
 - ・広域的な対応による効率的・効果的な行政運営を図るため、印旛郡市広域市町村圏事務組合において、職員共同採用試験や二次救急事業などの事務の共同処理を行う。

¥ 平成 29 年度当初予算 1,837 万円

◆この施策に対する現状の満足度について、どう考えますか。

（ 1 満足 2 やや満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満 ）

◆この施策は、今後のまちづくりにおいて重要だと思いますか。

（ 1 重要 2 やや重要 3 どちらともいえない 4 あまり重要ではない 5 重要ではない ）



最後に、今後の市政運営について、その他にご意見・ご要望などがありましたら、どんなことでも構いませんので、以下に自由にご記入ください。

以上で質問は終わりです。ご協力、誠にありがとうございました。

